

推薦状



【氏名】 山下 武志
【所属】 財団法人 心臓血管研究所研究本部長
【学歴・職歴】 1986年 東京大学医学部卒業
1994年 大阪大学医学部第二薬理学講座
1998年 東京大学医学部循環器内科助手
2000年 (財)心臓血管研究所、2007年より現職
日本内科学会内科認定医、日本循環器学会認定専門医

【学会】
日本心電学会評議員・学術諮問委員、日本不整脈学会理事

【受賞】
日本心電学会木村栄一賞
日本循環器学会 Y I A (Young Investigator s Award)
世界心電学会 Y I A 賞受賞

【著書】
『ナース・研修医のための心電図が好きになる!』(南江堂) 他多数

【推薦文】

日本人の1年間における全死亡者の60%は、3大生活習慣病(ガン、心臓病、脳卒中)で亡くなっています。医療に従事している立場からいえば、早期の段階で治療すれば多くの生活習慣病は予防することができます。皆様にあと少し早期発見・予防の必要性を自覚していただき、また同時にそのようなインフラが整備されることを常日頃から願っております。

自宅で疾病の早期発見・予防を行うための検査キットとして、現在血液をろ紙に染み込ませて行う方法等がありますが、的確に健康状態を把握するためには精度の高い方法が望ましいことはいうまでもありません。

そのような面においても、(株)ヘルス・ウェーブ・ジャパンが開発したコンパクトな遠心分離機及びスピッツは、これまでの常識を覆した画期的なものといえるでしょう。

従来、医療機関等でしか行えなかった『血清』での検査を、自宅にいながら行うことが可能になりました。疾病の早期発見・予防のための検査を自宅で医療機関と同様の精度でできるという、今までにないツールを用いたシステムです。

医療機関等で行う原理をそのまま在宅で行うために検査精度が大幅にアップし、佐川急便との提携による全国対応の集荷から冷蔵便による搬送の実施などのインフラ整備によりさらに確実性を増しています。

今後は、医療機関だけではなく健康保険組合や企業、介護、治験といった幅広い分野での活用が期待できます。

日本は、国民所得に対する医療費の比率が高く、今後医療費の削減を図る必要があります。

皆様が定期的に自分の健康状態を把握し、早期発見・予防に注力することで生活の質を向上し、健康寿命を延長するとともに、結果として医療費の削減が実現できることを願ってやみません。

本キットが広く活用されるよう推薦いたします。